

(株) ヴィレッジホーム光末 経営指針書発表会開催

【平成31年3月29日掲載】

平成31年3月15日、株式会社ヴィレッジホーム光末において「第29期経営指針書発表会」が開催されました。

当日は、来賓、関係機関等17名、社員7名の総勢24名を前に、光末幸司（みつすえこうじ）代表取締役が、会社の概要、歴史、経営理念、5か年計画、グループ戦略、年間スケジュール等について発表されました。

来賓の広島銀行油木支店長は、「社長が自身の考えや方針を開示した点が素晴らしい。従業員が目標を持って頑張れる取組だ。御社への信頼感が増した。当計画の実行に期待している。」と称賛し、JA全農ひろしま広島系統牛保存センター場長は、「発表を聞いて期待が膨らんだ。全農としても一層の支援を行いたい。今後、繁殖のみならず肥育牛のモデル経営体として一層の発展を期待している。」と激励されました。光末代表取締役からは、「本指針の発表が自己満足では意味がない。今回、社員の声を指針に盛り込めた点が良かった。この計画を達成できるよう一丸となって頑張りたい。」と決意表明がありました。

経営指針書の作成に当たっては、県の経営力向上支援事業を活用し、株式会社オフィス総合研究所の西原州康（にしはらくにやす）所長と県関係機関が、全9回の経営体支援を行いました。回を重ねるにつれ社長と従業員の皆さんが、生き生きと意見を交わし、思いを一致させ、計画を練り上げたことは、参加者全員にとって大変素晴らしい経験となりました。

本計画が、同社の皆さんの力で年々ブラッシュアップされ、より一層強い経営体として発展していくことを期待しています。



【発表会の様子】



【完成した第29期経営指針書】